

今日の説教のポイント<創世記6章9~8章22節>

①洪水物語は、今の私たちの物語

雑誌『世界』（8月号）の中の「誰も置き去りにしない社会へ」という題の記事を読みました。このところ日本ではコンスタントに年間3万人、毎日80人の自殺者が続いている現状を深く分析しており、「誰かを置き去りにしてでも効率最優先で進む社会は、自分や自分の大切な人が置き去りにされるリスクを孕んでいる社会である」という著者の言葉に心を動かされました。今日の聖書の箇所は、地上に人の悪が増し（5節）、不法（暴虐）が満ちるのを神様が見られて、ついに全ての者を地上から「拭い去ろう」とされて洪水を起こされた物語の箇所ですが、この記事を読みながら、今の私たちが同じことをされても仕方ないのではないかと思います。宗教改革者カルヴァンはこう言っています、「この話が意味していることは、本当は、神様は毎日洪水を起こして人間を罰しなければならないということだ」と。

②しかし、洪水物語の最後に大逆転の内容がある！

しかし、神様は洪水の後、こう言われるのです、「人に対して大地を呪うことは2度とすまい。人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ。私は、この度したように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい」（8章21節）。洪水後の人間も洪水以前の人間と変わるわけではないのです。しかし、聖書の神様は、「同じことは二度としない」と言われたのです！神様がころころ言うことを変えられておかしいのでしょうか？ そうではありません。旧約学者のフォンラートは、こう言っています、「洪水は、地上に罪が蔓延するのを防ぐために神が起す、最後から二番目の大きな審判である。それは確かに一つの審判であるが、その最後の部分では、墮罪の物語やカインの物語よりも更に強烈に、神の驚くべき救いの意志が明示されている」。その通りではないでしょうか！

③ノアの生き方に私たちの進むべき道が示されている！

では、私たちはどのように生きればいいのでしょうか？ ノアに命じられた神様の言葉の後に、「ノアは、すべて神が命じられた通りに果たした」（6:22）と記されています。イエスも言われています、「父の命令が永遠の命である」と（ヨハネ12:50）。生きる道がここにあります！